

すこやか通信

横須賀市救急医療センター



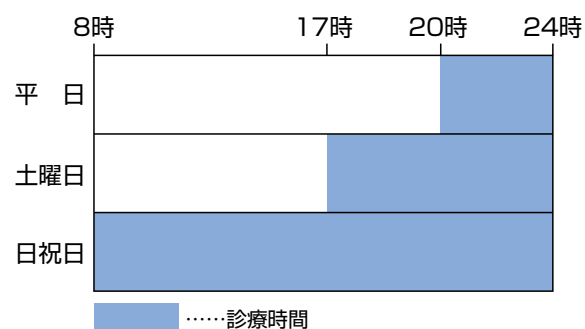
診療科目 内科・小児科・外科

〒238-0005 横須賀市新港町1-11

☎824-3001

横須賀市救急医療センターは、横須賀市医師会が管理・運営をしております。
横須賀市医師会では、市民の皆様安心していただける
質の高い医療を提供しております。

診療時間



年末年始 12月29日16時～
1月4日8時まで24時間診療

案内図



耳鳴りは治らない？

横須賀共済病院耳鼻咽喉科 鈴木一雅



「耳鳴りは治らないよ、年だからしょうがないよ」こんなことを言われた人はいませんか？耳鳴りを治すには、耳鳴りのメカニズムの正確な理解が必要です。耳鳴りは、耳で鳴っていると考えられていましたが、実は脳で鳴っているということがわかってきました。耳鳴りの人90%に難聴があります。老人性難聴の場合、内耳の有毛細胞という音を電気信号にかえる部分が弱り難聴が出ます。その弱った電気信号をなんとか聞き取ろうと脳が頑張りすぎて、耳鳴りが生じるのです。ですから、40歳を過ぎるとだれでも耳鳴りがなっているといっても嘘ではありません。実際、無音室にはいると今までわからなかったキーンという耳鳴りが聞こえてきます。普段小さい音で鳴っている耳鳴りは生活音にかき消されてわからなくなっているだけなのです。そうです、ほとんどの耳鳴りは実は病気ではありません。まずこのことをしっかり理解してください。また、耳鳴り治療の目標は、耳鳴りをなくすことではなく、気にならなくすることです。最近、耳鳴りには補聴器による脳のリハビリが非常に有効だとわかってきました。以上のことを踏まえ、お困りの方は専門医に相談してください。



横須賀市医師会は、市民の皆様により良い医療を提供できるようこれからも努力していくつもりでありますので、よろしくご支援をお願いいたします。
詳しいことは横須賀市医師会ホームページ
<http://www.yokosukashi-med.or.jp>
にアクセスしていただきますようお願いいたします。



一般社団法人 横須賀市医師会

〒238-0005 横須賀市新港町1-11 TEL 046-822-0542 FAX 046-823-4534

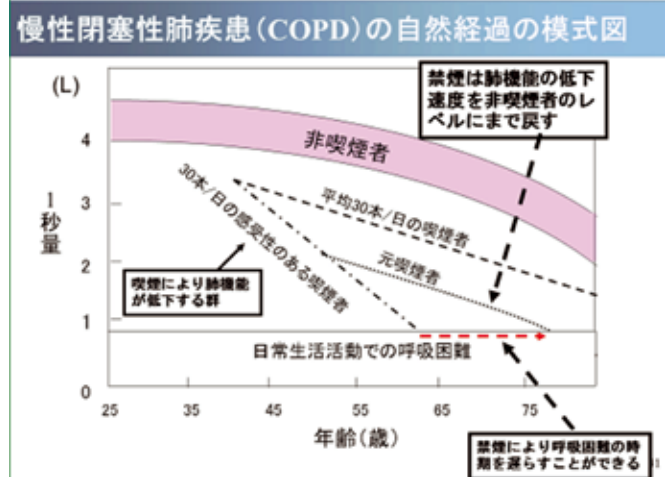
COPDという病気

よしいけ内科クリニック 吉池保博

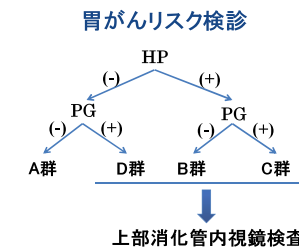


皆さんはCOPDという病気があるのをご存じですか？主にたばこが原因で気管支や肺に炎症が起きて気管支を通る空気の流れが遅くなって呼吸がしづらくなる病気です。慢性閉塞性肺疾患の英語の頭文字を集めてCOPDと命名されています。最初は坂道などを登る時に息切れが生じたり、せきやたんが多くでるようになります。さらに進むとかぜをひいた時にぜいぜいしたり病状が長引いたりします。たばこを続けていると肺機能（1秒量）はどんどん低下してしまいます。まずは禁煙が一番の治療です（図）。禁煙がなかなか難しい時には禁煙指導のできる所に相談してみてください。肺機能はかかりつけの先生でもできる

所がありますし、できない所でも適切な医療機関を紹介していただけます。薬物治療は吸入気管支拡張薬が中心になります。息切れをとり、入院や急性の悪化を防ぐことができることが証明されています。早期診断のためにも特に40歳以上の喫煙者や息切れ・せき・たんがいつもある人は進んでかかりつけ医に相談しましょう。



44,627人が受診し、226件（早期174、進行52）の胃がんが発見された。（表1）胃がん発見率は4年間平均で0.506%であり24年度の全国、神奈川県を大きく上回っている。（図2）また胃がんの発見という目的以外にもヘリコバクタピロリ感染者を抽出し、除菌を行えるので、今後の胃がん発生抑制効果も期待できる。リスク層別化検査導入前5年間の平均と比較しても、費用対効果も優れている。（図3）



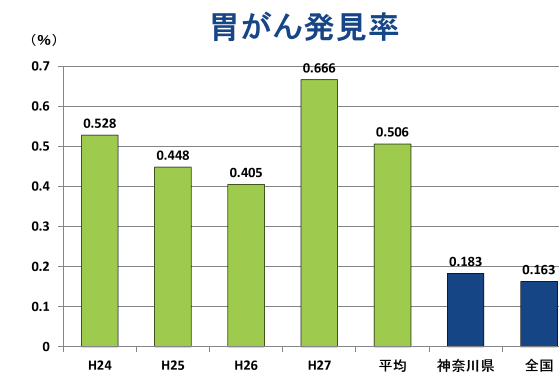
・A群のうち、ピロリ菌除菌歴のあるもの及び胃十二指腸潰瘍の治療歴のあるものは修正し、B群とした。
・A群は、受診後5年間は再受診できなく、BCD群は、以降再受診できない方針とした。

（図1）

胃がんリスク層別化検査結果(H24～H27年度)

対象者数 (H24～ 28年度)	年度	受診者数 (%)	要精検者 数	精検受診 者数 (%)	発見胃がん			胃がん以外の 消化器がん
					発見数 (%)	早期 (%)	進行 (%)	
139,290	H24	21,772 (15.6)	10,304	8,162 (79.2)	115 (0.53)	88 (76.5)	27 (23.5)	食道がん 27例
	H25	10,038 (8.5)	4,688	3,631 (77.5)	45 (0.45)	31 (68.9)	14 (31.1)	胃 悪性リンパ腫 5例 十二指腸がん 3例
	H26	7,408 (6.9)	3,214	2,454 (76.4)	30 (0.40)	27 (90.0)	3 (10.0)	胃 カルチノイド 1例
	H27	5,409 (5.4)	2,249	1,817 (80.8)	36 (0.67)	28 (77.8)	8 (22.2)	胃 MALTリンパ腫 4例
	計	44,627 (33.5)	20,455	16,064 (78.5)	226 (0.51)	174 (77.0)	52 (23.0)	

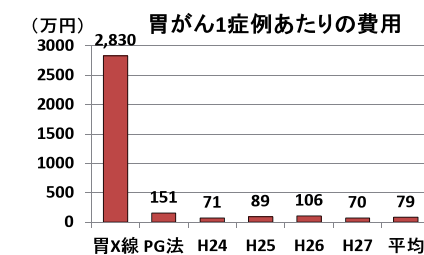
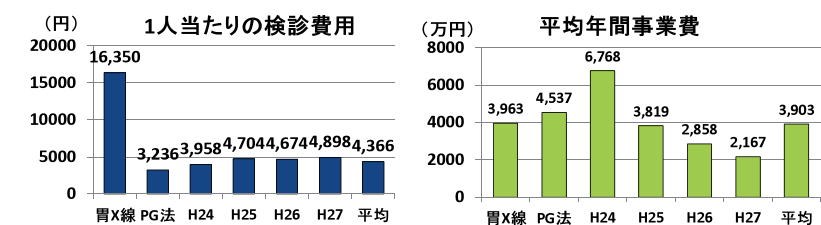
（表1）



（県・全国は県がん対策平成24年度地域保険健康増進事業報告による）

（図2）

費用対効果(H24～H27年概算)



（図3）

横須賀市医師会の活動

胃がんリスク検診（リスク層別化検査）について

横須賀市医師会胃がん検診担当理事 松岡幹雄
中央内科クリニック 院長



横須賀市では平成24年度より、胃がん検診としては全国で初めて従来の胃X線検査を全廃し、血液検査で胃粘膜の萎縮の程度をみるペプシノゲン法（以下PG法）とヘリコバクタピロリ感染の有無をみるヘリコバクタピロリ血中抗体（以下HP抗体）を組み合わせた、胃がんリスク検診（以下層別化検査）を40歳以上の市民全員を対象にして開始した。PG法、HP抗体の陽性、陰性でABCDの4群に分類し、BCD群の人は保険診療で内視鏡検査を行うこととした。（図1）24年度から27年度までの4年間で対象者139,290人のうち約1/3の